

科目名	インドネシア語専門セミナー（現代社会論）Ⅰ						
英語科目	ナンバリング (https://syllabus.kyoto-su.ac.jp/syllabus_search/#n) を参照						
開講期	春学期	開講学部等	外国語学部	配当年次	3年次	単位数	2単位
教員名	アントニウス ラーマト プジョ ブルノモ						

授業概要／Course outline

本授業は、多民族・多宗教国家であるインドネシアの現代社会を、歴史的背景と現在進行形の社会変動の双方から総合的に理解することを目的とします。1998年のスハルト体制崩壊以降に進んだ民主化と地方分権化は、政治参加の拡大や言論の自由をもたらした一方で、汚職の継続、政治エリートと市民の格差、地方間不平等といった新たな課題も生み出しています。

本授業では、急速な経済成長の陰で深刻化する貧富の格差、都市部への人口集中による住宅問題やスラムの拡大、非正規雇用の増加や若者の失業問題を取り上げます。また、教育や医療へのアクセス格差、農村部における貧困と出稼ぎ労働の実態についても検討します。さらに、イスラームを中心とする宗教と社会の関係に注目し、宗教的多様性と共存の理念、宗教的少数派への差別や社会的緊張、宗教保守化の進展が政治や日常生活に与える影響を考察します。加えて、ジェンダー不平等、女性労働者や移民労働者の権利問題、LGBTをめぐる社会的議論、森林破壊や環境汚染、気候変動への対応といったグローバルな課題も扱います。これらを通して、現代インドネシア社会の複雑さと動態を理解し、日本社会や他地域との比較から現代社会の在り方を批判的に考える力を養います。

従って本授業では、学生は、教員が指定したメディア資料や短編論文について自分の考えをまとめた書評を執筆し、発表を行います。最終的に、学生は複数の指定論文の議論を評価・検討しながら、小論文として提出します。

授業形態、授業方法等／Course form・type

【授業形態】

対面授業

【授業方法】

演習

・アクティブ・ラーニング授業（形態：ディスカッション、ディベート／グループワーク／プレゼンテーション）

グループ討論を通して自分たちの考えをまとめた上で、パワーポイントを使った発表を行います。

・ICTを活用した授業（形態：遠隔教育（ビデオ・オン・デマンド等））

オンデマンド授業には、MoodleないしTeamsを使用します。

授業内容・授業計画／Course description・plan

講義の冒頭では、まず現代のインドネシア社会が抱える主要な問題についてのインドネシア語ニュース動画を視聴し、そこから読み取れる問題について検討します。

その後、短編論文読解を通してインドネシア社会が抱える主要な問題について検討します。学生は、指定された文献を読み解き、ディスカッションを行い、現代インドネシア社会が抱える問題を考える上での鍵概念を理解し、自分なりの意見をまとめます。

最終的に、教員から出された設問に解答するかたちでまとめレポートを作成し、教員からのフィードバックを得た上でレポート内容を発表し、最終レポートを完成させます。

第1回 テーマ 授業の概要説明

演習の進め方、授業の主題と結論への道筋を提示します

第2回 テーマ インドネシアにおける非正規雇用の増加と若者の失業問題①

第3回 テーマ インドネシアにおける非正規雇用の増加と若者の失業問題②

第4回 テーマ 農村部における貧困と出稼ぎ労働問題

第5回～第6回 テーマ 教育や医療へのアクセス格差の問題

短編論文の講読を行い、クラス議論を経て短いまとめを執筆する。教員－学生間の対話シート実施

第7回 中間テスト

第8回～第9回 テーマ インドネシアにおける宗教生活

短編論文を講読し、クラス議論を経て短いまとめを執筆します。

第10回～第11回 テーマ 経済と環境問題

第12回 テーマ ジェンダー不平等とLGBT問題

教員から与えられた設問に答えるかたちで、最終プレゼンテーションの準備を行います。

第13回～第14回 テーマ 演習の総まとめ発表、学生発表と最終レポート作成「学習成果実感調査」

★オンデマンド 第13～14回授業にて実施する学生プレゼンテーション録画を視聴し、コメントします。

①学生プレゼンテーションの録画を視聴します。（60分）

②クラスメート全員と自分の発表の良い所、改善点をコメント投稿します。（20分）

③振り返りのためのワークシートを記入、提出します。（10分）

事前・事後学修／Preparation and assignments

第1回

[事前学習] シラバスで予定されている授業内容を確認しておきます。また、インドネシア社会において人々が国際移住労働という言葉について感じる意味あいについて、自分なりに考えてみます。

[事後学習] 配布されたレジュメをよく読み、授業内容をまとめたノートを見直し、インドネシア社会が抱える主要な問題を意識し、自分なりに再確認します。

第2回～第12回

[事前学習] それぞれの社会問題について、インターネット等で事前調査しておきます。

[事後学習] 配布されたレジュメをよく読み、授業内容をまとめたノートを見直し、不明点がないか確認します。

第13回～第14回

[事前学習] これまでの授業の論点、問題点を整理しておきます。

[事後学習] 自分のまとめレポートの進捗を確認し、教員の指示に従って修正に取り組みます。

※各授業に対する事前・事後学修は約180分を目安とし、合計で2,700分程度とします。上記内容を確認して、しっかりと事前・事後学修を行うことです。

授業の到達目標／Expected outcome

インドネシア社会が抱える主要な問題について理解します。その上で、政府と民間の役割について検討して自分なりの意見（或いは自分ならこのようなことで解決すべきだなどというような意見）を説明することができるようになることです。

身につく資質・能力／Competencies to be attained

- ・ 思考力
 - ・ 主体性
- 専門知識・専門技能
【外国語学部 アジア言語学科】
・ 言語的技能

履修上の注意／Special notes, cautions

履修上の詳細な注意に関しては、第1回の授業で資料を配布して説明するので必ず出席することです。また、この授業では、ポイント制を採用します。履修学生は、授業に出席し、指示された課題を行い、提出することでポイントを取得し、ポイント数によって評価が決定します。なお、教員や学生の発言や発表に対して積極的に質問やコメントを行う場合もその都度ポイントが付与されます。従って履修学生には、積極的に授業に参加する姿勢を求めます。また、「事前・事後学習」にある通り、本授業は授業時間以外に毎週2時間の事前・事後学習時間を前提としています。つまり本授業では、履修学生はただ授業を受講するだけでなく、自分自身の関心や疑問を見つけて自主的に情報を検索し、それを授業で共有する姿勢が必要になります。

評価方法／Evaluation

平常点 30%
授業内課題、テスト 40%
最終課題 30%

教材／Text and materials

必要に応じてプリント等を配布します。

質問や相談の方法／Instructor contact

オフィスアワー、Teamsのチャットやeメールを利用してください。